

「食」と「健康」ラボ研究会 第15回シンポジウム

(オンライン シンポジウム)

開催概要

主催:長野県食品製造業振興ビジョン推進協議会

「食」と「健康」ラボ研究会

1. **開催日時**: 令和7年9月29日(月) 13時30分～16時30分

2. **開催方法**: Zoom によるオンライン形式

3. **プログラム**

(1)開会挨拶 13:30～13:35

「食」と「健康」ラボ研究会 会長(有限会社はなのみ 代表取締役) 小宮 準也 氏

(2)講演① 13:35～14:55(発表 70分・質疑応答 10分)

「エシカル消費が拓く地域ブランドの未来:農業現場で見えたヒント」

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 (NARO)

NARO 開発戦略センター連携戦略グループ グループ長

安江 紘幸 氏

～～～

休憩 10 分間

～～～

(3)講演② 15:05～16:25(発表 70分・質疑応答 10分)

「心理学の視点から「おいしさ」を考える

—モノだけでなくヒトも見据えた食品づくりに向けて—

近畿大学 産業理工学部 経営ビジネス学科 産業心理学研究室 准教授

大沼 卓也 氏

(4)閉会挨拶 16:25～16:30

伊那谷アグリイノベーション推進機構 専務理事(信州大学農学部 教授)

竹田 謙一 氏

※以上は予定につき、変更する場合もございます。

講演概要

■13:35～14:55

「エシカル消費が拓く地域ブランドの未来：農業現場で見たヒント」

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（NARO）
NARO 開発戦略センター連携戦略グループ
グループ長
安江 紘幸 氏

本講演では、地域との共創を通じて、SDGs時代に求められる価値提案と消費者との新しい関係づくりの実践的ヒントを共有します。具体的には、プロトタイピングによる商品開発手法を活用し、6次産業化や農商工連携を展開する岩手県陸前高田市の事例、エシカル消費を切り口に有機農業とスマート農業を融合し、新市場開拓につながるマーケティング戦略を展開する青森県黒石市の事例、そして、米国西海岸での和食素材などについて紹介します。

■15:05～16:25

「心理学の視点から「おいしさ」を考える

—モノだけでなくヒトも見据えた食品づくりに向けて—

近畿大学産業理工学部 経営ビジネス学科
産業心理学研究室
准教授
大沼 卓也 氏

おいしいものを作っているはずなのに、なかなか手に取ってもらえない——こうした悩みは珍しくないはずです。なぜ消費者は作り手が期待するように「おいしい」と感じないことがあるのでしょうか？そもそも顧客や消費者はどのようにして食品の質を認識し、味やおいしさを評価しているのでしょうか？本講演では心理学や認知科学の研究によって明らかにされてきた人間の感覚と認知の特性について紹介しながら、顧客や消費者がその食品をもっとおいしく楽しめるような方法を考えていきます。